

『エルマーのぼうけん』～四年生 国語 <本の世界を広げよう> 137ページ

ルース・スタイルス・ガネット さく ルース・クリスマン・ガネット え
わたなべ しげお やく



一度は聞いたことのあるタイトルではないでしょうか。少年エルマーが、どうぶつ島に捕らえられている子どものりゅうを助けに行く物語です。

どうぶつ島にはその名の通り、どうぶつがたくさんいます。そこにやってきたエルマーの前には、彼を食べようとする獰猛などうぶつ達が次々と現れます。とやかく言いながらエルマーを食べようとしますが、賢いエルマーは恐れ過ぎず慌て過ぎず、たくみな話術と、どうぶつ達の欲しいものをちらつかせ、まんまと煙に巻いてしまいます。この本の魅力は、間違いなくどうぶつ達をエルマーが攻略する様子です。力ではなく、知恵と勇気でどうぶつ達を次々と手なづけてしまう様子は、とてもワクワクします。

棒つきキャンディー2ダース、色の違う7本のリボン、虫眼鏡6本…こんなアイテムで獰猛などうぶつ達を攻略してしまうのですから、面白いったらありません。

文章そのものは丁寧でゆっくりしていますが、クライマックスの、煙に巻いたどうぶつ達が一斉に追いかける中、りゅうの子どもがつながれている太いなわをぎしぎし切る場面は迫力があり、ドキドキします。先が気になるお話であると共に、薄い一冊なのであつという間に読めてしまいます。『エルマーとりゅう』『エルマーと16ぴきのりゅう』へと読み進みましょう。

追記：はじめに登場するエルマーのお母さんがとてもこわいです。

- 読むのにかかる時間 1時間
- 単行本 128ページ
- 福音巻書店